



所 管	まちづくり企画部 上矢作振興事務所		
担 当	夏目	問い合わせ	0573-26-6864

報 道 機 関 各 位

上矢作町達原大平地区福寿草自生地的一般開放について

上矢作町達原大平（たっぱらおおだいら）地区では、寒さが和らいで暖かな日差しを感じ始めると、山里の早春を告げる可憐な花、福寿草が開花を迎えます。

毎年この自生地では、地域住民が協力し一般開放をしています。本年は、下記の日程で一般開放しますので、広く周知いただくとともに、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 日 時 令和8年3月14日（土曜日）～29日（日曜日）
午前10時～午後4時
2. 場 所 恵那市上矢作町達原大平地区 福寿草自生地
(恵那市上矢作町達原 950 番地)
3. 概 要 大平地区の福寿草自生地は、上矢作町の中心街から国道418号を長野県平谷方面へ5kmほど行った達原溪谷にあります。
この集落の棚田斜面に約40アール、10万株の福寿草が自生し3月中旬から4月上旬まで順次咲いていきます。特に柿や梅などの落葉樹の下に群生しており、見応えがあります。
この自生地の福寿草は、大平地区の先祖が今から約300年前に南アルプスの赤石山系から持ち帰り移植したと言われていいます。一説には元亀元年（1570年）の上村合戦（武田軍の美濃侵略）時に武田軍が持ち込み、それが自生したとも言われています。
福寿草は恵那市の天然記念物に指定されています。
4. 協力金 福寿草保護のため、住民を中心とした「福寿草を守る会」が一人300円の環境保護協力金をお願いしています。



市公式キャラクター
『エーナ』



5. その他 (1) 関連イベント

日時 令和7年3月20日(金・祝)、21日(土)、22日(日)

午前10時～午後2時

内容 五平餅を販売します。

(2) 近くの名所

福寿草自生地へ向う国道418号の道中には、落差40mの滝「不動の滝」を見ることが出来ます。また、福寿草自生地から国道418号線をさらに5kmほど行った長野県平谷村との県境には「福寿の清水」給水場があります。

6. 取材について

福寿草は陽が差さないときは、花が開花しません。取材いただける場合は日中、天候のよい日をおすすめします。また、開花状況は、事前に上矢作振興事務所まで問い合わせいただければ、お伝えします。

7. 主催 福寿草を守る会

春の足音が近づいています

福寿草シーズン開きのご案内



寒さが和らいで暖かな日差しを感じ始めると、山里の上矢作に早春を告げる可憐な花、達原大平地内の福寿草が開花を迎えます。

今年も、地元住民の皆様のご好意で下記の日程で一般開放されます。

一般開放期間

令和8年3月14日(土)～3月29日(日)

午前 10 時～午後 4 時

自生地 恵那市上矢作町達原大平地内



※環境保全のため、一人300円の協力金をお願いします。

※20・21・22日(祝・土・日)の3日間は、五平餅の販売を予定しています。

※雨天・曇天の時は、花が開花しませんので、晴れた日の鑑賞がお勧めです。

◆ 大平の福寿草のいわれ

この地の福寿草は、今から300年ほど前、大平地区住民の祖先が、赤石山系より持ち帰り移植したものとされています。また一説によると元亀元年(1570年)、この地で起こった上村合戦(武田信玄の美濃攻略)のおり、武田勢が持ち込み、自生したとも言われています。

福寿草は、種子から花を咲かせるのに7年かかるといわれ、繁殖・維持管理がとて難しい花で、市の天然記念物に指定されています。現在、大平地内の福寿草は、地元住民を中心とした「福寿草を守る会」が保護しております。



◆ 問い合わせ

平日：午前8時30分～午後5時15分まで 上矢作振興事務所 ☎ 26-6864

土日祝日：午前9時～午後5時まで 上矢作コミュニティセンター ☎ 26-6929